

(iv) 主要元素(Figure 5-16)

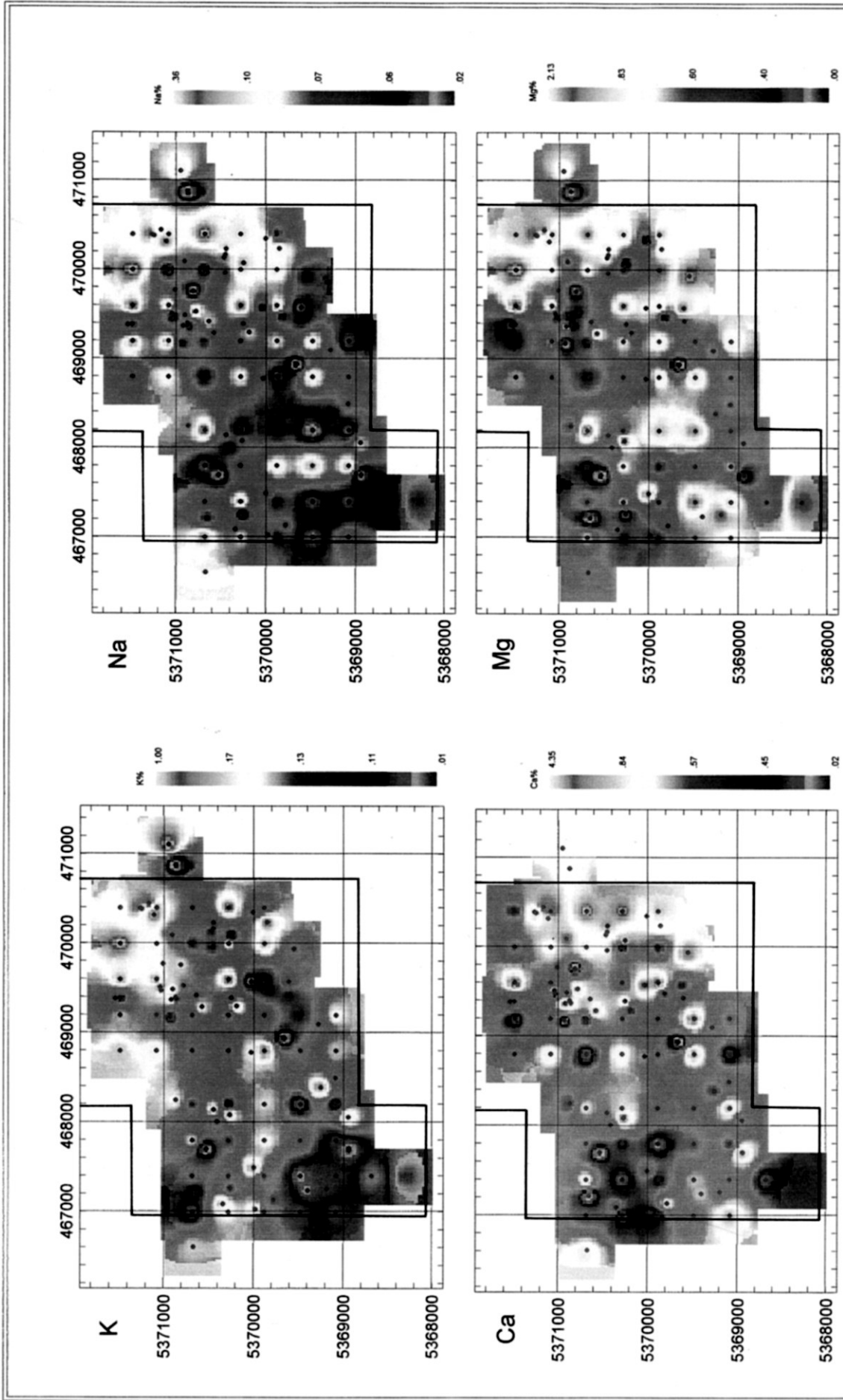
カリウム(K)は地区の北東部にまとまった高濃度域がある。この部分は銅、モリブデン、金も高濃度を示した地区である。銅・モリブデンが示した地区西部のまとまった高濃度域ではカリウムは散点した高濃度を示すのみであった。

そのほかのアルカリ土類金属(Na,Ca,Mg)は類似した濃度分布パターンを示し、地区の東隅部が高濃度分布域となっている。地区北東部(UTM座標の53710.00N,46970.0付近)の閃緑斑岩分布域では、Na,Ca,Mgが共に低濃度域となっている。

(2) IP異常と元素分布(Figure 5-17およびFigure5-18)

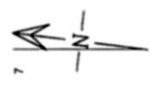
顕著なIP異常が地区の北東部と西部の2箇所に認められる。両異常ともにほぼNS系で、調査範囲を越えて北方に広がる。地区北東部のIP高異常帯は金の高濃度域に重複する。Figure 5-17に示したように、ほとんどの金高濃度を示した地点および多くの銅高濃度地点はこのIP高異常帯内にある。

西部のIP高異常帯は、そのほぼ中心部が銅の高濃度域となり、またモリブデン高濃度帯の主要部もこの中に位置する。ただしここでは金の高濃度域は確認されなかった。高IP異常と銅・金高濃度域の一致は、斑岩銅タイプ鉱化帯の探査の観点から注目されるべきものである。



Central Zaiturbulak Prospect
Rock Chip and Drillcore Assay Results
 k, Na, Ca, Mg (percent)

Figure 5 - 16



• shallow drilling sites



